

(様式第 1 号)

■ 会議録 □ 会議要旨

会議の名称	第52回 芦屋市入札監視委員会
日時	令和7年11月26日(水) 14:00～16:00
場所	北館4階 教育委員会室
出席者	<p>委員長 安原 徹</p> <p>委員 坂本 幸子</p> <p>委員 中川 みち子</p> <p>事務局 御手洗副市長 岡崎総務部長 白井契約検査課長 鹿嶋建築課長兼主幹(施設担当課長) 竿尾基盤整備課長 森本水道管理課長 下水道課職員 契約検査課職員</p>
事務局	総務部総務室契約検査課
会議の公開	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由> 芦屋市入札監視委員会規則第5条第5項
傍聴者数	0 人(公開又は一部公開の場合に記入すること。)

1 会議次第

(1) 議事

- ① 入札・契約手続の運用状況等の報告（令和7年度上半期執行分）
- ② 抽出案件
- ③ 競争入札にかかる指名停止等の措置基準適用状況報告（令和7年度上半期執行分）
- ④ 随意契約サンプリング調査結果報告（令和7年度第1四半期・第2四半期調査分）
- ⑤ その他

2 提出資料

資料（１） ア 入札状況及び随意契約内容一覧表 令和７年度上半期
（令和７年４月１日～令和７年９月３０日）
イ 不調・不落発生件数
ウ 不調・不落発生件数（工種別）
エ 公共工事入札状況（予定価格段階別一覧表）
オ 公共工事入札状況（参加業者・落札業者区分別一覧表）

資料（２）抽出事案①～⑥関係書類（写し）

資料（３）競争入札に係る指名停止等の措置基準適用一覧表（令和７年度上半期分）

資料（４）随意契約サンプリング調査結果報告（令和７年度 第１・２四半期）

第5 2回芦屋市入札監視委員会 議事概要

(1) 入札・契約手続の運用状況等の報告（令和7年度上半期執行分）

（質疑・意見）入札状況について、年度毎で、施工内容や金額等が異なる工事が発注されていると思うのですが、平均落札率が概ね同率となっているのは、偶然なのか、あるいは何か調整をしているのでしょうか。

（事務局） 予定価格帯別の平均落札率については、対象件数が多くないため年度間でもばらつきが生じていますが、全体の平均値で見ますと、ご指摘のとおり、概ね差がない結果となっております。最低制限価格が設定されているため、下限値が大きく変わらないということも要因の一つではありますが、総じて一定の範囲に収束しているということは、適正に入札が行われている結果であるというように考えております。

（質疑・意見）入札中止になった案件のうち、金額を理由に辞退されるものもあるとのことですが、設計金額に関しては、物価上昇も加味して積算されているのですか。

（事務局）設計金額については、国・県の積算基準に基づき算定しており、物価上昇も一定反映されていると考えております。また、参考見積等に基づき単価設定を行う場合も、最新の市場価格の反映に努めていますが、その他、設計において想定する施工方法や工程、またこれらに係る経費などの部分での相違等が生じていることも要因としては考えられます。

（質疑・意見）金額規模が小さい工事については、採算性の面で敬遠されるということもお聞きするのですが、市としてはどのような考え方で発注されているのでしょうか。

（事務局）小規模工事については不調となる割合が高い傾向があり、採算を理由とする辞退も多くみられます。不調対策としては、同種工事をまとめて発注することなども有効ではありますが、一方、中小企業の受注機会の確保といった観点も必要となります。案件ごとの特性も踏まえつつ、発注状況や入札結果なども勘案の上、適切な発注に努めているところでです。

(2) 抽出案件

①芦屋市立小中学校体育館空調設備設置工事

（質疑・意見）2回目の入札において、1回目より予定価格が多少上がっておりますが、不調となった結果を受けて見直しをされたのですか。

（事務局）1回目の入札で応札した1者が、予定価格を超過していたことを踏まえまして、ヒアリングを行いましたところ、設備工事の部分において、業者の積算金額と本市の設計金額に少し乖離があることが確認できましたので、積算方法等の見直しを行いまして金額を増額し、再度入札をいたしました。

（質疑・意見）辞退された業者の理由は何ですか。

（事務局）2回目の入札で辞退された2者ですが、1者は技術者の配置ができなくなったため。1者は予定価格内での施工ができないためとされています。

（質疑・意見）この規模の工事において、入札までのスケジュールとしては妥当なのでしょうか。

（事務局）入札スケジュールは、市の事務処理に係る日数と、工事の予定価格に応じて見積期間を設定し、入札、契約までの日程を定めておりますが、期間が短いといったご意見はいただいております。

（質疑・意見）どの空調機器を設置するのか指定しているのですか。

（事務局）工事の設計図書ならびに図面の中で、仕様を指定しております。その上で施工業者がどのメーカーの機器を設置するのかを選定し、選定された機器が指定した仕様を満たしているかどうかを、事前に確認しております。

②芦屋市公園施設長寿命化計画策定業務委託

（質疑・意見）具体的にどのような作業をするのかをどの程度詳しく入札時に提示しているのですか。

（事務局）公園点検の手順書については、国の基準がありまして、当該手順書に基づき仕様書に記載しております。

（質疑・意見）現場に行って目視や検査をするということですか。

（事務局）土台等の腐食度合や、ロープの劣化具合、転倒する恐れがないかなどが点検項目になります。

（質疑・意見）点検した内容を報告書にまとめる業務も含まれているのですか。点検作業は特殊な技術を要するものではない業務で、それほど経費を要しないものですか。

（事務局）現場の調査自体は人手を要しますが、特に技術が必要な作業ではなく、点検後に策定する計画の内容において、業者それぞれのノウハウが活用されるので、その部分で差異が生じていると思われます。

（質疑・意見）５年前にも同種業務を委託されていますが、今回、業者間で入札金額に幅があるのは何か原因があるのでしょうか。

（事務局）過去の入札結果においても、予定価格よりも非常に低い額で落札されていますので、今回は通常より多めに業者から見積りを取りまして、設計をしております。

結果として、前回と同じ業者が落札されていますが、本市の状況を把握されていることもあり、他業者より安価で応札できたのではないかと推察しています。

（質疑・意見）安価の入札であっても、仕様どおりに業務は行われているのですか。

（事務局）現在、現地調査が終わった段階ですが、問題なく履行していただいております。

（質疑・意見）最近、遊具が減っているように感じますが、取替等に係る費用節減の観点もあるのですか。

（事務局）安全領域という遊具の安全な利用に必要な空間を一定確保する基準がございまして、以前よりも遊具同士の距離を広く確保する必要がありますので、結果的に遊具の数が減っております。

③市立図書館冷温水発生機・冷温水ポンプ・冷却塔改修及び冷却水ポンプ更新工事

（質疑・意見）落札率が高くなっているのは、管工事特有の要因によるのでしょうか。

（事務局）工種としては管工事のうちの空調設備に該当しますが、指名業者は大半が市外業者となります。工事規模もそれほど大きくないことや、材料費の占める割合、また、発注時期など、様々な要因が考えられます。

（質疑・意見）市内業者の指名が少ないのはどのような理由でしょうか。

（事務局）空調設備の施工可能な市内業者が限られているためです。

（質疑・意見）採算や工期、難易度などはどうでしょうか。

（事務局）空調工事としてはそれほど難易度が高いものではなく、特段、危険を伴うものでもないと考えております。

（質疑・意見）最低制限価格で落札される場合もある中で、当該工事は落札率が高く、業者側のメリットがそれほどないのではないかと思います。

（事務局）今回、採算を理由とする辞退は２者ありましたが、大半は技術者の配置が理由となっています。仮に発注時期が違っていれば、対応可能な業者も増え、より競争性が働き、落札率が下がった可能性もあったかと思われます。

（質疑・意見）設計金額のうち、人件費の割合はそれほど高くないのですか。

（事務局）設備費の割合が大きな工事ですので、作業の効率化など、施工業者の企業努力によって価格を下げられる範囲が限られていると思われます。

④令和７年度市内一円下水管調査業務委託（全国特別重点調査）

⑤令和７年度市内一円下水管調査業務委託（汚水・合流）その１

（質疑・意見）毎年実施している調査ですか。

（事務局）⑤については毎年実施しております。令和２年度に策定したストックマネジメント計画に基づき順次実施しているものですが、来年度に当該調査結果を反映した次のストックマネジメント計画を策定するため、一旦は今年度で完了となります。

（質疑・意見）落札率は毎年これほど高いのですか。

（事務局）令和3年度から調査を開始していますが、当初は入札不調・不落が続いておりましたため、業務内容の一部を簡略化するなどの見直しを進めてきた結果、その後、入札状況も改善されてきておりますが、昨年度との比較では落札率が高くなっております。

（質疑・意見）応札者は多いですが、入札金額が高止まりしているので、採算が合わないということが原因ですか。

（事務局）調査や報告書作成等に係る人件費によって入札金額が高くなっていることは考えられます。なお、工事では予定価格を公表していますので、採算性を確認の上、辞退される場合がありますが、調査等の業務委託は非公表ですので、工事と比較すると応札者の割合が高くなる傾向があります。

（質疑・意見）予定価格以上の金額で応札されている業者が多いですが、設計金額で見直しが必要な部分はないのですか。

（事務局）落札業者にヒアリングしましたところ、やはり採算性は高くないと言われておりますが、積算にあたっては、国や県の基準に従うこととなりますので、改善できる要素がなく、設計金額で対応することは困難と考えています。

（質疑・意見）調査方法は管の大きさによって変わるのですか。

（事務局）直径800mm以上であれば管の中に人が入って調査しますが、800mm未満であればカメラ調査で実施します。

（質疑・意見）どちらの方法でも調査項目は同じなのですか。

（事務局）管の大きさによって判定基準の違いはありますが、ひび、破損や腐食等、確認するところは基本的には変わりません。

⑥松ノ内町地内外配水管改良工事

（質疑・意見）条件付き一般競争入札の配水管改良工事と比べて、こちらの指名競争入札の案件だけ入札中止になっておりますが、どのような違いが考えられますか。

（事務局）本工事では2者が入札辞退されていますが、理由はいずれも、人員不足とのことでした。その他の4者については、配布資料を開封されたことが確認できない状況でしたので、業務多忙等により応札が難しい事情があったのではないかと推察されます。

（質疑・意見）一般競争入札の案件と比べると工事価格が高くないことも原因となっているのでしょうか。

（事務局）同時期に別の工事を施工中であったと思われますので、特に金額規模が大きくない工事であるからという理由で、応札を見送ったとは考えておりません。

（質疑・意見）中止となった後の対応はどうなっていますか。

（事務局）一般競争入札に変更して2回目を実施しましたが、これも応札者がなかったため中止となっており、現在、3回目の手続を行っているところです。

（質疑・意見）1回目は全て市内業者を指名されていますが、それが適切とお考えでしょうか。

（事務局）基本的には、市内業者に配慮した選定を行うという考え方がございますが、辞退された業者については、技術者の配置ができないとのことでしたので、別の現場との重複などがあったのではないかと推察しております。

（3）競争入札にかかる指名停止等の措置基準適用状況報告（令和7年度上半期執行分）

（質疑・意見）なし

（4）随意契約サンプリング調査結果報告（令和7年度第1四半期・第2四半期調査分）

（質疑・意見）なし